



# 加島五千石総鎮守 米之宮浅間神社 社報

令和8年  
正月

1月1日発行

## 正月「奉納行事」のご案内

当神社境内にて以下の通り開催いたします

1月2日(金)

九時十五分、尺八、詩吟朗詠(竹友会・岳心流吟友会)  
九時四十五分、古武道等演武(総合福祉武道学会・総合武道少林  
会富士丘道場・神刀正統伝承渡邊  
流正武塾)

十一時、

木遣り、梯子乗り(氣組・富士木遣り愛好会・  
青柳会・富士地区鷹工業連合会)

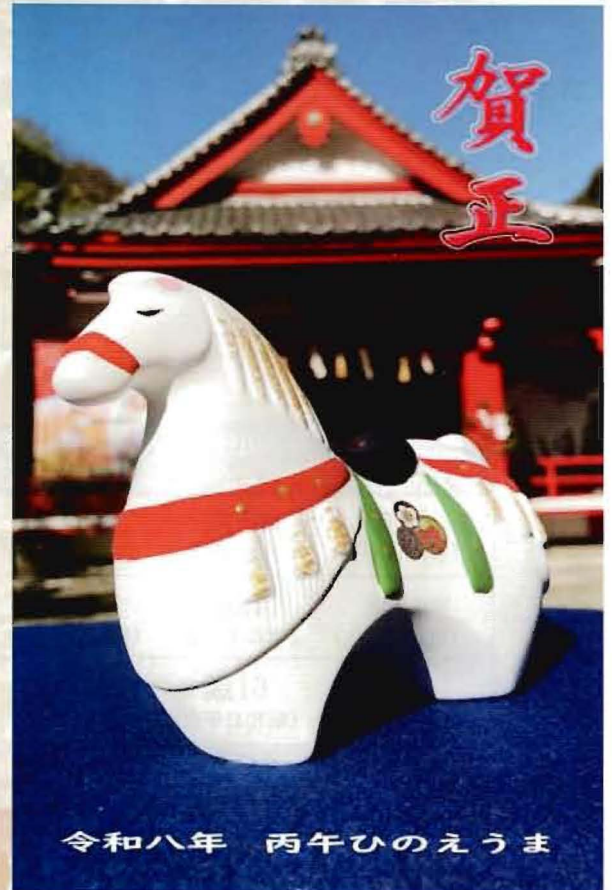
1月3日(土)

九時三十分、巻藁射礼(富士市弓道協会会員)  
九時四十五分、剣道演武(神明館)  
十時四十五分、甲子囃子(富士本町甲子囃子保存会)  
正午、馬弓神事(紅葉台木曾馬牧場)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

節分祭「豆まき式」2月3日(火)

一回目 特別祈禱 十三時 豆まき式は約30分後  
二回目 特別祈禱 十六時 (〃)  
※厄除・招福祈願神事の受付中、詳細は社務所まで



令和八年 丙午ひのえうま

## 新年を迎えて

令和八年(紀元二六八六年)の丙午の年頭にあたり、謹んで  
皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の平安をお祈りいたします。

今年の初詣では、皆様はどんなお願いをされるのでしょうか。  
御自身のこと、御家族のこと、さまざまでしょう。皇室ではそ  
の年の初めは、国民国家の平和を祈ることから始まります。こ  
れを四方拝しほうはいといいます。四方拝は俳句で一月の季語になってい  
ますので、俳句が好きな方は御存じでしょう。

四方拝太古のままの空昏くぐもき(鈴木鶉衣)

「空昏くぐもき」とあるように、四方拝は元日早朝の夜の明けきら  
ぬ厳寒の中、天皇陛下御自ら神嘉殿南庭で伊勢の神宮、山陵及  
び四方の神々を拝し、国民国家の平安と五穀豊穡を祈られる、  
その年の最初に行われるとても重要なおまつりです。

昨年、大東亜戦争終結から八十年を迎え、我が国でも戦後生  
まれの人口が九割近くを占めるようになりました。だんだんと  
戦争の記憶が風化していく中であって、天皇皇后両陛下には、  
広島県・長崎県・沖縄県・硫黄島などに行幸啓遊ばされました。  
昭和から平成、令和へと時代が変わつ  
ても、平和を祈る、皇室のその真摯  
なお姿には少しも変わりありません。  
それは私たちも同じで平和を望む、  
その気持ちに変わりはないし、変え  
てもいけないのです。

今年一年、皆様が御健康で御活躍  
されますことを祈念申し上げます。





## 皇室のおまつり

天皇陛下の最も大切なお務めは神々をおまつりすることです。これは、にぎののみこと 邇々芸命が高天原から葦原中津国へ降臨されたときに、天照大御神から神器の鏡を授けられ、大御神だと思つて大切にまつるよう命じられたことに由来します。天皇陛下は、我が国の発展と国民の幸福、五穀豊穰など天下万民のために祈られます。全国の神社では陛下のお手振りを拝して、祈年祭や新嘗祭など、毎年恒例のお祭りが厳粛に執り行われています。



## 手締め

手締めとは、物事の落着や無事な決着を祝つて行う拍手のことをいいます。拍手とは、『魏志倭人伝』に、貴人に対する敬礼の所作として記されています。これは神社参拝に際して、神さまに対して行う拍手として受け継がれています。地域によって一本締めや三本締めなどの流儀がありますが、互いの意思を確認し一致団結を図つていくために古くから伝えられてきた大切な生活習慣であると言えます。

## 厄年について

厄年は、人の一生の中でも様々な災難に会いやすい年といわれています。現在は負の側面が強いですが、本来は晴の年齢はりのとしと考えられ、地域社会において一定の地位を得ることを示し、宮座への加入や神輿担ぎを行うなど、神事に多く関わることを意味していました。このため、心身を正常に保ち、言動を慎んで行動をする必要があったわけです。厄年は、生まれた年を一歳とし、その後は元日に一つ歳を取る「数え年」を用います。新年を迎える際に歳を取ることで正月に厄払いを受けることが多いです。厄年の年齢になりましたら、厄払いや厄除けのご祈願を受けましょう。

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 (平成15年生)	25歳 (平成14年生)	26歳 (平成13年生)
41歳 (昭和61年生)	42歳 (昭和60年生)	43歳 (昭和59年生)
60歳 (昭和42年生)	61歳 (昭和41年生)	62歳 (昭和40年生)
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 (平成21年生)	19歳 (平成20年生)	20歳 (平成19年生)
32歳 (平成7年生)	33歳 (平成6年生)	34歳 (平成5年生)
36歳 (平成3年生)	37歳 (平成2年生)	38歳 (昭和64年/平成元年生)

※数え年は、誕生日前の場合には2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。

## もつとくわしく「神社・神道」

全国約八万の神社を包括する神社本庁、また全国の神社総代で組織する全国神社総代会では、神社神道、そして祝日や日本の年中行事を紹介したホームページを開設しています。更に知りたい！という方は是非ご覧ください。



神社本庁ホームページ



楽しく学べる神社のページ  
「お宮キッズ」



連絡先 **米之宮浅間神社 社務所**  
〒四一六-〇九〇六  
静岡県富士市本市場五八二  
☎〇五四五(六二)〇八一七  
□〇五四五(六二)〇八二九

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓・神葬祭など様々な神事を受付けています。いつもより神さまに近い場所ので、願意を届けてみてはいかがでしょうか。ご祈願についてのお問合せは神社まで